



令和6年7月31日

園だより

たかがみねこども園

たくさんの水しぶきをあげて、楽しそうにプールで遊ぶ子どもたちに夏を感じます。「あがりますよ～！」と声をかけても、なかなかプール遊びが終わりません。心地よい水の感触を体いっぱい感じています。小さなお友だちも沐浴やシャワーをして気持ち良く過ごしています。

さて、8月は『ミシガンクルーズ』『大津市科学館』『讚州寺の地藏盆』があります。

～ 8月の目標 ～

☆ 規則正しい生活を送りましょう

早寝早起きで規則正しい生活を心がける。朝食をしっかりと食べ、夏バテで体調を崩さないようにする。

☆ 感じたことを素直に表現しよう

夏ならではの体験を通して感じたことを言葉で伝えたり、絵に描いたり、自由に表現することを楽しむ。

先月の園だよりで非認知能力を身につけることの大切さについてお話ししましたが、今月は非認知能力を育てるために保護者の方がどう関わればいいのか、そのポイントについてお伝えします。

① 安心感を与えてあげる

「ママはここにいるからね」「何かあったら助けるからね」と、常にお子さまのそばにいて見守っているよということを言葉にして伝えてあげましょう。また、なるべくスマホを置いてお子さまのお顔を見てお話をしあげてください。

② 時間に余裕を持つ

毎日決まったスケジュールで動くのではなく、子どもが夢中になって遊んでいるときは、時間を調整し、好きなことを思い切りやらせてあげるようにしましょう。

③ 子どもが自主的に選べる環境をつくる

「このおもちゃで遊ぼうか」「このお洋服にしよう」と、大人が決めてしまうと、自分で考えたり想像したりする力が育ちませんので、子どもの「やりたい！」をできるだけ優先してあげましょう。服や食事の献立などを子どもに決めてもらうこともいいかもしれません。さまざまな場面で、子どもに選択してもらう機会を作ってあげてください。そのとき、子どもが決めたものは否定せず受け入れてあげることが大切です。

④ 否定的な言葉を減らす

「ダメ」「そうじゃない」「やめて」といった否定的な言葉は、なるべく減らせるといいですね。否定的な言葉が増えると、自己肯定感が下がったり、自信がなくなります。注意するときや困ったことがあるときは、肯定文に変えてみましょう。同じ内容でも肯定文に変えるだけで、気持ちに変化が出てきます。

非認知能力は、子どもが自分らしくのびのびと成長していくためのもの。そのためには、子どもとしっかり向き合い、愛情を伝え、「そのままのあなたでいいんだよ」と認めてあげることが大切です。